

## 逝去者記念

### 逝去者記念聖餐式

#### 特禱

すべての人の作り主、贖い主なる神よ、願わくは主のしもべ（――）の魂をみそなわし、御子の苦しみのいさおによりて、その量るべからざる恵みを受け、終わりの日に世を去りしすべての忠義なるしもべとともに、喜びて主の御顔を仰ぎ見ることが得させたまえ。父と聖霊とともに一体の神にましまして世々統べ治めたもう御子イエスキリストによりてこいねがい奉る。アーメン

#### 使徒書 コリ後四章一六一―五章四

#### 福音書 ヨハ五章二四―二八

幼年逝去しゃの記念聖餐式には、幼年葬送式中の聖餐式の特禱、使徒書、福音書を用いる。

#### 逝去者記念式

家庭でこの式を用いてもよい。

司式者 父と子と聖霊の御名によりて アーメン

司式者 主よ、あわれみたまえ

会衆 キリストよ、あわれみたまえ

司式者 主よ、あわれみたまえ

次に一同、主の祈りを唱える

天にします我らの父よ、願わくは御名を聖となさしめたまえ。御国たまえ。御心を天におけるごとく、地にも行わしめたまえ。我らの日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我ら赦すごとく、我らの罪え。我らを試みにあわせず、悪より救いくださいたまえアーメン

詩二十三篇  
詩四十八篇

ここでヨハネ伝第一四章一節から一三節までを朗読する。

次に左の祈りをする。ただし幼年逝去者のときはこれを用いない。

世々限りなくいます主、命のもととなる神よ、主の御名は、世を去れる者にも、世にある者にも、ひとしくあがめられたもう。我ら、やすみに入れる主のしもべ（――）のゆえによりて御名をほめ奉る。願わくはパラダイスおよびこの世にある、主の全公会に御光を放ち、天よりの慰めをあたえたまえ。願わくは我らをあわれみ、よき模範をのこせる主のしもべの跡をふみ、主を愛し、主に仕え、ついに彼らとともにとこしえの喜びに入ることを得させたまえ。主いえすキリストによりてこいねがい奉る。アーメン

幼年逝去者のときは次の祈りを用いる。

主イエスキリストよ、この世にいまししとき、幼な子をいだきて祝し、天国つはかくのごとき者の国なりと教えたまえり。願わくはいつくしみ深き御手をもって主が招きたまいし幼な子たちの、今もなお主によるこばれ、御守りのうちにあることを信ぜしめ、我らをして、つねに主のなぐさめを感謝し、御名をあがむる心を増させたまえ。父と聖霊とともに唯一の神にましまして世々限りなく統べ治めたもう主にこいねがい奉る。

アーメン

つづいて以下の祈りをする。

主イエスキリストよ、主は十字架の死によりて死の針を除きたまえり。願わくはしもべらをして主を信じ、主にありて安らかに眠り、主の御姿に目ざむることを得させたまえ。父と聖霊とともに世々限りなく一体の神にまします主のあわれみによりてこいねがい奉る。アーメン

全能の神よ、主は選びたまひし者を結び合わせ、御子我らの主イエスキリストのからだなる公会に連ねたまえり。願わくは我らに恵みをあたえ、主の聖徒の模範にしたがいて常に清きことを行ない、ついに主を愛する者のために備えたまいし大いなる喜びにあらずかることをえさせたまえ。主イエスキリストによりてこいねがい奉る。アーメン

願わくはあわれみ深き全能の神、すべて主を信じて世を去りし者に光明と平安とをあたえ、とこしえの命に至らせたまわんことを。アーメン